

任委員会に付託になりました議案のうち、平成20年度予算に関連する議案1件について審査をいたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、会議日程に従い、去る3月4日に開催し、委員全員出席のもと当局関係者の出席を求め審査をいたしております。

それでは、議案第21号 長井市介護保険介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の設定について申し上げます。

本案は、介護報酬の引き上げに伴う介護保険料の上昇を抑制するため介護従事者処遇改善臨時特例交付金を積み立てる基金を設置すべく提案されたものであります。

審査に際し、福祉事務所長からは、今年度中に交付される1,966万7,000円の交付金をもとに基金を造成し、第1号被保険者の介護保険料の改定に伴う増加額分の軽減の財源に充てるものであるとの説明を受けたところであります。

質疑に入り、委員からは、1,966万7,000円の交付金について、第1号被保険者の保険料軽減分として1,795万8,279円、その他の経費として170万8,400円と算定したようだが、これがそれぞれ条例第6条第1項第1号及び第2号の金額と理解してよいかとの質疑がなされ、福祉事務所長からは、そのとおりであるとの答弁を受けたところであります。

また、委員からは、今回の措置が介護従事者の処遇改善に結びつくのかとの質疑がなされ、福祉事務所長からは、介護報酬が上がる分を従事している職員に還元するかどうかは事業者の判断であるとの答弁を受けたところであります。

採決の結果、本案は、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、厚生常任委員会に付託になりました案件審査の報告を終わります。

○佐々木謙二議長 委員長報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございません

か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第3、議案第21号 長井市介護保険介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の設定についての1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第21号について、厚生委員長の報告は、原案可決であります。

厚生委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。

よって、議案第21号は、厚生委員長報告のとおり決定いたしました。

予算特別委員会審査報告

○佐々木謙二議長 次に、予算特別委員会の審査の報告を求めます。

町田義昭委員長。

(町田義昭予算特別委員長登壇)

○町田義昭予算特別委員長 おはようございます。

平成21年第1回市議会定例会において予算特別委員会に付託になりました議案第38号 平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計予算から、議案第47号 平成20年度長井市水道事業会計補正予算第3号までの平成20年度予算案10件について審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

予算特別委員会は、会議日程に従い、3月5日に審査が行われたところであります。

審査に当たっては、各会計予算の概要について担当課長より説明を受けた後、2名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査を行った

ところではありますが、その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会でありますので、後刻会議録によりご承知くださいますようお願いを申し上げ、審査の結果のみご報告申し上げます。

議案第38号 平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計予算、議案第39号 平成20年度長井市一般会計補正予算第5号、議案第40号 平成20年度長井市国民健康保険特別会計補正予算第3号、議案第41号 平成20年度長井市公共下水道事業特別会計補正予算第3号、議案第42号 平成20年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計補正予算第1号、議案第43号 平成20年度長井市訪問看護事業特別会計補正予算第2号、議案第44号 平成20年度長井市介護保険特別会計補正予算第4号、議案第45号 平成20年度長井市浄化槽事業特別会計補正予算第2号、議案第46号 平成20年度長井市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号、議案第47号 平成20年度長井市水道事業会計補正予算第3号の10件につきまして、いずれも全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位より出されました質疑、意見については十分に意を用いられ、事務の執行に当たられるよう申し上げ、予算特別委員会の審査の報告を終わります。

○佐々木謙二議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

まず、日程第4、議案第38号 平成20年度長井市定額給付金給付事業特別会計予算の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第38号について、予算特別委員長の報告

は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。

よって、議案第38号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第5、議案第39号 平成20年度長井市一般会計補正予算第5号の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第39号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。

よって、議案第39号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第6、議案第40号 平成20年度長井市国民健康保険特別会計補正予算第3号から、日程第12、議案第46号 平成20年度長井市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号までの7件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、一括して採決いたします。

議案第40号から議案第46号までの7件について、予算特別委員長の報告は、いずれも原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。

よって、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案第45号、議案第46号の7件は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第13、議案第47号 平成20年度長井市水道事業会計補正予算第3号の1件につい

て、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第47号について、予算特別委員長報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。

よって、議案第47号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

日程第14 市政一般に関する質問

○佐々木謙二議長 次に、日程第14、市政一般に関する質問を行います。

ここで申し上げますが、3月定例会は市議会の申し合わせにより会派代表、政党代表、個人の順に質問を行うこととされております。

なお、会派代表質問に限り関連質問を認めます。

質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

初めに、会派代表質問を行います。

それでは、順次ご指名いたします。

蒲生光男議員の質問

○佐々木謙二議長 順位1番、議席番号6番、蒲生光男議員。

(6番蒲生光男議員登壇)

○6番 蒲生光男議員 おはようございます。

フォーラム21を代表して質問いたしますので市長以下当局の皆様には的確かつ明瞭なる答弁をお願いいたします。

さて、アメリカ発経済の悪化は、日増しに日本経済を直撃し、これまで経験したことがない状態になっております。

G7で最もマイナス幅の大きかった日本のGDP、海外勢が驚いているのは、世界金融不安の震源地である米国よりも「当初は安全と見られていた日本の経済成長率が目立って落ち込んでいることである」。これは外資系証券会社の関係者の話です、と市場では見られている。08年10月から12月期の実質国内総生産(GDP)成長率は、米国がマイナス3.8%、ユーロ圏がマイナス5.7%、英国がマイナス5.9%であるのに対し、日本はマイナス12.7%。これより大きなマイナスは主要国では韓国のマイナス20.8%だけである。

この流れは、2009年1月から3月の経済成長でも同じ状況となっており、余りにも急激な経済悪化は先行きが全く見えない中で雇用調整も含め対応し切れていない企業が続出し、結果として置賜経済圏や長井市内企業でもまさに暗中模索の状態だと思えます。

市内企業に勤めていたある方は、突然会社から、あしたから自宅待機を言い渡され、以来3カ月経過するのにいまだに何もなく、「もうだめだ」と肩を落としていました。

週3日勤務とか、月のうち内10日程度しか働けない、ただでさえ月額の給料カットをされた上、働けない分もカットされる、毎月7万円もの住宅ローンをどうやって払えばいいのかという深刻な事例が周りにあふれている状況であります。

帝国データバンクが4日発表したアンケート調査によりますと、2009年度に正社員の採用を予定していない企業が45.9%に達していることがわかりました。08年度に比較して15.9%上昇し、調査開始の05年度以降で最高であったということであります。景気後退を受けて企業の採用意欲が大幅に低下している実態が浮き彫りに